

科目の種類	必修	科目名	総合数学Ⅰ	学 年	2	単位数	3
コ ー ス	スポーツコース						
教 科 書	実教出版 「新高校数学Ⅱ」						
副 教 材	東京書籍 「ニュージャスト数学Ⅱ」						
科目のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の計算、直線の式、円の方程式、不等式の領域の図形的意味、指数計算、対数（log）計算、微分計算、積分計算を主に取り上げ、基本的な演算方法を通して、これまで習ってきた数学のものの考え方を学び、計算技術の習得を目指します。 ・中学で習った直線の式の考え方をさらに発展させ、図形的に式の意味を理解し、基礎的な知識の習得と技術の習熟を図ります。 							
授業の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・二年生必修の数学Ⅱの内容を全分野にわたり広く浅く学習していきます。 ・随時小テストを実施し、学習の定着をはかります。 ・級別トレーニングテストを実施し、計算力を鍛えます。 							
より良く学習を進めるためのアドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・予習よりもまず、復習に力を入れて公式等の基本事項を確認してください。 ・そのまま中間、期末試験対策になるので、捨てずに各自ファイル等にまとめて管理すると良いでしょう。 							
評価方法 <p>○テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト範囲は同じですが、テスト問題は、共通100点、クラス別問題50点となります。出題範囲は、教科書の例題、問、問題、練習問題、ニュージャストとなります ・Aクラスは標準～応用問題、Bクラスは基本～標準問題となります。 <p>-----</p> <p>○平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内実力テスト、小テスト、基礎力テスト、級別トレーニング、授業態度・欠席回数・提出物などを点数化して、総合的に評価していきます。 							

学期	学 習 単 元	学 習 の 内 容 と ね ら い
前 期	I. 複素数と方程式 ①整式の除法 ②複素数の計算 ③解と係数の関係 ④恒等式 ⑤分数式 ----- 第 1 回 定 期 考 査	①整式の除法の仕方を学びます。 ② $x^2 = -1$ を満たす新しい数について学んでいきます。 ③ 2次方程式の係数との関係について学んでいきます。 ④恒等式について学びます。 ⑤分数で表された文字式を簡単な形に直す方法を学習します。
	II. 図形と方程式 ①分点、中点の座標 ②三角形の重心 ③2点間の距離 ④2直線の平行条件 ⑤2直線の垂直条件 ⑥円の方程式 ----- 第 2 回 定 期 考 査	①内分点、外分点、中点の座標について学びます。 ②三角形の重心を座標を用いて表します。 ③平面座標上の2点間の距離を求めてみます ④2直線の平行条件について学びます。 ⑤2直線の垂直条件について学びます。 ⑥円の方程式について学びます。
後 期	III. 三角関数 IV. 指数関数 ①指数・累乗根 ②指数関数のグラフ, 大小関係 ③指数方程式 ----- 第 3 回 定 期 考 査	①同じ数を3回掛けて5となる数について考えてみましょう。 ②指数関数のグラフを用いて色々な値の大小関係を学びます。 ③指数方程式について学びます。
	V. 対数関数 ①対数, 対数の計算方法 ②底の変換公式 ③対数関数のグラフ, 大小関係 ④対数方程式 ⑤常用対数 (桁数の問題) ----- 第 4 回 定 期 考 査	①対数の定義と計算方法を学びます。 ②底の変換公式を用いて底をそろえましょう。 ③対数関数のグラフを用いて対数の大小を調べていきます。 ④対数方程式について学びます。 ⑤ 2^{50} は何桁の整数になるか調べてみましょう。
	VI. 微分 ①微分の意味とその表し方 ②微分係数と接線 VII. 積分 ①不定積分の計算の仕方 ②定積分の計算の仕方 ③放物線と直線とで囲まれた部分の面積 ----- 第 5 回 定 期 考 査	①どんな曲線でも非常に小さい区間では、線分とみなせます。その線分の傾きの変化について学びます。 ②曲線に接する直線と微分係数の関係, および接線の方程式について学びます。 ①不定積分の定義について学びます。 ②定積分の定義について理解し, 定積分の公式を学びます。 ③放物線と直線とで囲まれた部分の面積は、y軸に平行に細かく分けると細長い長方形になります。これらの面積を求め、曲線で囲まれた部分の面積を求めていきます。